

履 修 ガ イ ド

2026年度

芸 術 学 部 芸 術 学 科

芸 術 教 養 領 域



名古屋芸術大学

NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

目 次

1. 名古屋芸術大学のカリキュラムについて	1
2. 名古屋芸術大学の授業科目	2
3. 履修ガイドの使い方	3
【表1】各授業科目で育成する資質・能力	6
【表2】芸術学部の卒業要件単位数	7
【表3】教育学部の卒業要件単位数	7
【表4】学則授業科目表：全学総合共通科目	8
【表5】学則授業科目表：芸術学部専門科目	9
【表6】学則授業科目表：教育学部専門科目	14
【表7】学則授業科目表：教職課程科目（中学校・高等学校免許）	15
【表8】学則授業科目表：学芸員に関する科目	15
4. 履修ガイド	17
（1）全学総合共通科目	19
① 開設授業科目及び各授業科目で育成する資質・能力	20
（2）コース等授業科目	23
1) リベラルアーツコース	25
① 人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力	26
② 卒業要件	29
③ 開設授業科目一覧	31
（3）免許/資格課程科目	35
1) 学芸員課程	37
① 人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力	38

1. 名古屋芸術大学のカリキュラムについて

多くの私立大学は、**建学の精神**に基づき定められた**教育目的**を達成するために設置されています。

名古屋芸術大学（以下、「本学」と言います。）では、その教育目的を達成するために必要な教育研究組織として、芸術学部と教育学部の2学部を整備しています。

各学部では、卒業するまでにどのような資質・能力を育成し修得を目指すのか、学生が達成すべき具体的な学修成果を設定した**ディプロマ・ポリシー**（卒業認定・学位授与の方針）を定めています。

本学では、学生が卒業時にディプロマ・ポリシーに到達できるよう、領域（芸術学部）、系（教育学部）ごとに、各授業科目で育成する資質・能力として5つの観点を定め

【表1】、さらにコース（芸術学部）、系（教育学部）（以下、「コース等」と言います。）ごとに、観点別の具体的な学修成果を設定しています。

そのディプロマ・ポリシーで定めた**教育目標**を達成するために体系的に編成した授業科目群を**カリキュラム**と言い、どのようにカリキュラムを編成し実施するのかの方針を**カリキュラム・ポリシー**（教育課程編成・実施の方針）と言います。

（本学の建学の精神、教育目的及び各学部のディプロマ・ポリシー、教育目標、カリキュラム・ポリシーについては、『学生便覧』を参照してください。）

本学では、その教育目標を達成するために幅広い教育プログラムが用意されており、コース等として教育プログラムごとに人材養成のためのカリキュラムを編成しています。

本学のカリキュラムは、学則において次のように区分されています。

(1) 全学総合共通科目（芸術学部、教育学部共通の授業科目）

「全学総合共通科目」は、「一般科目群」と「横断科目群」に区分されています。

「一般科目群」は、主に人文または自然科学の分野に属する一般教養科目を、「横断科目群」は、音楽、舞台芸術、美術、デザイン、芸術教養、子ども教育及びPBLの専門分野に関する授業科目のうち、それぞれの分野に関する基礎的な知識・技能を修得することができる授業科目をもって編成しています。

(2) 専門科目

[芸術学部]

「専門科目」は、「専門共通」、「領域共通」及び「領域展開」の3つの群に分けて編成されています。

「専門共通」は、音楽、舞台芸術、美術、デザインまたは芸術教養の別にかかわらず、すべての領域において共通して履修できる授業科目です。

「領域共通」は、各領域の1年次または2年次の学生が履修し、修得すべきそれぞれの領域の専門分野に関する基礎的な知識及び技能に関する授業科目です。

「領域展開」は、各領域及び各コースの専門分野に関する専門的な知識及び技能を応用及び展開し、当該分野についてのより深い研究を行うための授業科目をもって編成しています。

[教育学部]

「専門科目」は、「専門基礎科目」、「芸術基礎科目」、「専門基幹科目」、「専門展開科目」、「ゼミナール」の5つの群に分けて編成されています。

(3) 自由選択科目

[芸術学部]

「専門科目」の卒業要件単位数80単位と「全学総合共通科目」の卒業要件単位数24単位を超えた修得単位数が「自由選択科目」となります（上限20単位）。

[教育学部]

「専門科目」の卒業要件単位数80単位と「全学総合共通科目」の卒業要件単位数24単位を超えた修得単位数が「自由選択科目」となります（上限20単位）。

そして、それぞれの授業科目区分における卒業に必要な最低単位数（卒業要件単位数）を学則第13条【表2】【表3】で定めています。

2. 名古屋芸術大学の授業科目

本学のカリキュラムを構成する授業科目は、学則第10条に定められています。

また、教育職員免許状及び保育士資格に係る授業科目は学則第12条、その他の資格等に係る授業科目は学則第16条に定められています。

その修得が卒業要件単位となる学則第10条の授業科目（別表1-4、1-5、2-3）【表4】【表5】【表6】の他、学則第12条に定める中学校免許・高等学校免許の「教育の基礎的理解に関する科目等」（別表3-1-1）及び「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）」（別表3-2-6、3-2-7、3-2-8）【表7】並びに学則第16条に定める学芸員に関する科目（別表4-1）【表8】が、本学のカリキュラムを構成するすべての授業科目となります。

本学のカリキュラムを構成している全授業科目を示している【表4】から【表8】には、「学則番号」を設定しています。

授業科目の名称、すなわち「学則番号」が同じでも、複数の授業が開講されている授業科目があります。この履修ガイドでは、このような授業科目に関し、コース等別の表

においてシラバスの内容ごとに「クラス」とし「学則番号」の「枝番」を設定しています。時間割表において複数の授業が開講されている授業科目では、同じ授業科目名でも自分が履修できない「クラス」がありますので、注意してください（履修登録できない「クラス」の授業科目は、履修登録画面に表示されません）。

なお、「クラス」は、年度によっては開講されない場合もあります。開講の有無については、必ずその年度の時間割を確認するようにしてください。

3. 履修ガイドの使い方

この履修ガイドは

- (1) 全学総合共通科目：開設授業科目及び各授業科目で育成する資質・能力
- (2) コース等授業科目：① 人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力
② 卒業要件
③ 開設授業科目一覧

※ 音楽総合コースは、① 開設授業科目及び各授業科目で育成する資質・能力と
② 卒業要件

- (3) 免許/資格課程科目：人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力

で構成されています。

なお、教育職員免許状（幼稚園・小学校）及び保育士資格に係る授業科目は、すべて卒業要件となっていますので、教育学部に（3）はありません。

- (1) 全学総合共通科目：開設授業科目及び各授業科目で育成する資質・能力

全学総合共通科目の卒業（学位授与）の要件を満たすには、この表に記載の科目において、次の条件を満たす必要があります。

- ・ 一般科目群から必修科目 10 単位（プロフェッショナルアーティストコースは 14 単位）を含む 16 単位以上修得。
- ・ 横断科目群から 8 単位以上修得。子ども学科は、8 単位のうち子ども教育科目以外に 6 単位以上の修得が必要。

必修科目（**赤字**で表示）以外の選択科目（黒字で表示）から、上の条件を満たすように科目を選択し履修してください。

履修にあたっては、各授業科目の学年（配当年次）を確認してください。各授業科目の配当年次より上の学年において履修可能となります。

必修科目においても、配当年次で単位修得できなかった場合、配当年次より上の学年での履修は可能です。

なお、舞台芸術領域の学生は、横断科目群のうち「デッサン」の単位を修得するようにしてください。

(2) コース等授業科目

① 人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力

ここでは、コース等の人材養成像に到達するために必要な授業科目群を履修モデルとして示しています。

専門科目（卒業要件単位：芸術学部 80 単位以上、教育学部 80 単位以上）については、主としてこの表の授業科目から履修登録をし、授業に出席のうえ単位を修得することによって卒業（学位授与）を目指すこととなります。

この表は、

- ・ コース等の人材養成像
- ・ 各授業科目で育成する資質・能力としての観点別の具体的な学修成果
- ・ 人材養成像に関連した資質・能力を育成する授業科目（履修モデル）
- ・ 各授業科目で育成する資質・能力

が示されています。

コース等が設定している人材養成像に到達するために、必修科目（**赤字**で表示）の他、この表に示されている授業科目から選択（選択必修科目（**緑字**）があるコース等は、それを含む。）していくことが望まれます。

② 卒業要件

人材養成像に到達するために主として①の表（履修モデル）の授業科目の履修を進めていくことになりますが、表に記載の授業科目について卒業要件単位（芸術学部 124 単位、教育学部 124 単位）を満たすように闇雲に履修すればよいという訳ではありません。人材養成像に到達するためにカリキュラム・ポリシーに基づいて編成された科目区分に応じた履修をする必要があります。②の表は、卒業（学位授与）に至るために必要な条件（卒業要件）をコース等ごとに示しています。この表に従って履修を進めるようにしてください。

芸術学部については、【参考】として卒業要件の表に続いて学年別の履修登録単位数の例を示しています。ただし音楽総合コースは、主とする専攻によって卒業要件が異なってくることから示していません。また、教育学部については、取得を目指す免許/資格によって各学年で履修登録すべき授業科目（単位数）が異なることから、この履修ガイドでは示していません。必ず学部のオリエンテーションで説明を受けてください。

③ 開設授業科目一覧

本学では、教育目標を達成するために幅広い教育プログラムがあることから、コース等の履修モデル(①の表)にある授業科目以外にも多くの授業科目を履修できる機会を用意しています。この表は、コース等に開設されているすべての授業科目が示されています。主に①の表(履修モデル：薄い青色でハイライト表示している科目)に基づいて履修を進めていくことになりますが、②の表の卒業要件を満たしつつ、興味関心に応じて、この③の表に示されている科目を履修することも可能です。ただし普段、授業に出席しているキャンパスと別キャンパスで開講されている授業科目の履修を希望する場合は、授業前後の移動時間を考慮して無理のない履修をするようにしてください。キャンパス間移動による遅刻や早退は認めていないので注意してください。

(3) 免許/資格課程科目：人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力

教職課程(中学校、高等学校)及び学芸員課程の各授業科目で育成する資質・能力を示しています。

なお、免許/資格を取得するために必要な授業科目であって専門科目にも配置されている授業科目における各授業科目で育成する資質・能力については、専門科目において示すこととなります。

免許/資格取得のための具体的な履修方法については、それぞれの免許/資格の説明会に必ず参加して確認するようにしてください。

【表1】各授業科目で育成する資質・能力

領域/系	A	B	C	D	E
音楽	(知識・理解) : 芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識と考え方を習得する。	(関心・意欲・態度) : 課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身につける。	(思考・判断) : 課題やテーマに対して、的確に情報を収集し、分析、評価する論理的思考ができる。	(技能・表現) : 芸術分野において必要とされる発想、技術、表現力を身につける。	(コミュニケーション) : 自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション力を身につける。
舞台芸術	(知識・理解) : 芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識と考え方を習得する。	(関心・意欲・態度) : 課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身につける。	(思考・判断) : 課題やテーマに対して、的確に情報を収集し、分析、評価する論理的思考ができる。	(技能・表現) : 芸術分野において必要とされる発想、技術、表現力を身につける。	(コミュニケーション) : 自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション力を身につける。
美術	(知識・理解) : 芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識と考え方を習得する。	(関心・意欲・態度) : 課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身につける。	(思考・判断) : 課題やテーマに対して、的確に情報を収集し、分析、評価する論理的思考ができる。	(技能・表現) : 芸術分野において必要とされる発想、技術、表現力を身につける。	(技能・表現) : 自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション力を身につける。
デザイン	(知識・理解) : 芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識と考え方を習得する。	(関心・意欲・態度) : 課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身につける。	(思考・判断) : 課題やテーマに対して、的確に情報を収集し、分析、評価する論理的思考ができる。	(技能・表現) : 芸術分野において必要とされる発想、技術、表現力を身につける。	(技能・表現) : 自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション力を身につける。
芸術教養	(知識・理解) : 芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識と考え方を習得する。	(意欲・実行) : 課題やテーマに対して主体的に取り組む、計画的に遂行する力を身につける。	(思考・判断) : 課題やテーマに対して、的確に情報を収集し、分析、評価する論理的思考ができる。	(技能・表現) : 芸術分野において必要とされる発想、技術、表現力を身につける。	(コミュニケーション) : 自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション力を身につける。
学校教育	(知識・理解) : 教育分野における基礎的な専門知識（特に発達や専門分野における理論や技術）を身につける。	(関心・意欲・態度) : 正解のない多様な課題に関心を持ち、「わからないことを愉しむ」意欲や「あそび心」をもって取り組む態度を身につける。	(思考・判断) : 子どもの発達を支援し、地域に貢献しつつ成長し続け、新たな価値を創造するような思考と判断力を身につける。	(技能・表現) : 「芸術」に根ざした感性・創造性と、教育に関する専門知識・技術を活用することで、自らの考えを発信・表現し、子どもの発達を支援する。	(コミュニケーション・人間関係) : 「芸術」に根ざした人間性、感性と教養をもち、他者と協働しながら地域・社会に貢献する。
幼児教育・保育	(知識・理解) : 幼児教育・保育分野における基礎的な専門知識（特に発達や専門分野における理論や技術）を身につける。	(関心・意欲・態度) : 正解のない多様な課題に関心を持ち、「わからないことを愉しむ」意欲や「あそび心」をもって取り組む態度を身につける。	(思考・判断) : 子どもの発達を支援し、地域に貢献しつつ成長し続け、新たな価値を創造するような思考と判断力を身につける。	(技能・表現) : 「芸術」に根ざした感性・創造性と、幼児教育・保育に関する専門知識・技術を活用することで、自らの考えを発信・表現し、子どもの発達を支援する。	(コミュニケーション・人間関係) : 「芸術」に根ざした人間性、感性と教養をもち、他者と協働しながら地域・社会に貢献する。

【表2】芸術学部の卒業要件単位数（第13条関係）

授業科目区分			必要単位数
全学総合共通科目	一般科目群		16 単位
	横断科目群	音楽領域科目	8 単位
		舞台芸術領域科目	
		美術領域科目	
		デザイン領域科目	
		芸術教養領域科目	
		子ども教育科目	
		PBL科目	
専門科目	専門共通		80 単位
	領域共通		
	領域展開		
自由選択科目			20 単位
備考			
1 専門科目の内、20単位を上限として、他学部、領域で開設する開放ユニットを履修することができる。			
2 全学総合共通科目、専門科目の卒業要件単位数を超えて修得した単位については、合計20単位を上限として、卒業要件単位（自由選択科目）に加えることができる。			
3 名古屋芸術大学寄附講座受入規程により受け入れ、教育課程に位置づいた科目については、合計4単位を上限として卒業要件単位（自由選択科目）に加えることができる。			
卒業要件単位			124 単位

【表3】教育学部の卒業要件単位数（第13条関係）

授業科目区分			必要単位数
全学総合共通科目	一般科目群		16 単位
	横断科目群	音楽領域科目	8 単位
		舞台芸術領域科目	
		美術領域科目	
		デザイン領域科目	
		芸術教養領域科目	
		子ども教育科目	
		PBL科目	
専門科目			80 単位
自由選択科目			20 単位
備考			
1 横断科目群の項に掲げる科目については、子ども教育科目以外の科目に属する授業科目の単位を6単位以上修得することを必要とする。			
2 全学総合共通科目、専門科目の卒業要件単位数を超えて修得した単位については、合計20単位を上限として、卒業要件単位（自由選択科目）に加えることができる。			
3 名古屋芸術大学寄附講座受入規程により受け入れ、教育課程に位置づいた科目については、合計4単位を上限として卒業要件単位（自由選択科目）に加えることができる。			
卒業要件単位			124 単位

【表4】学則授業科目表：全学総合共通科目（第10条関係、別表2-3）

区分	学則 番号	授業科目	単位 数	区分	学則 番号	授業科目	単位 数
一般 科目 群	001	大学生になる	1	横 断 科 目 群	048	音楽の世界	2
	002	日本語表現	1		049	西洋音楽史各論	2
	003	英語1	1		050	ポップス・ジャズミュージックシーン	2
	004	英語2	1		051	舞台芸術概論	2
	005	英語3	1		052	劇場史	2
	006	コミュニケーション英語1	1		053	アートマーケティング	2
	007	コミュニケーション英語2	1		054	絵画基礎	2
	008	コミュニケーション英語3	1		055	デッサン	2
	009	フランス語Ⅰ	1		056	書道アート	2
	010	フランス語Ⅱ	1		057	認知科学	2
	011	ドイツ語Ⅰ	1		058	アニメーション特論	2
	012	ドイツ語Ⅱ	1		059	ソーシャルデザイン論	2
	013	イタリア語Ⅰ	1		060	現代芸術と文化	2
	014	イタリア語Ⅱ	1		061	芸術と科学	2
	015	中国語Ⅰ	1		062	文化とマーケティング	2
	016	中国語Ⅱ	1		063	教育の思想と歴史	2
	017	情報メディア演習	2		064	子どもの発達と芸術	2
	018	数理科学	2		065	学校とICT	2
	019	基礎数学	2		066	多文化共生論	2
	020	AIと数理	2		067	生涯発達心理学	2
	021	生物学	2		068	アートプロジェクト1	2
	022	美学	2		069	アートプロジェクト2	2
	023	倫理学	2		070	アートプロジェクト3	2
	024	歴史学	2		071	アートプロジェクト4	2
	025	社会学	2				
	026	日本国憲法	2				
	027	心理学	2				
	028	人類学	2				
	029	考古学	2				
	030	考古学演習	2				
	031	健康と体力	2				
	032	健康スポーツ	2				
	033	スタディ・アプロード	2				
	034	ボランティア	2				
	035	インターンシップ	2				
	036	経済学	2				
	037	民法	2				
	038	労務論	2				
	039	簿記	2				
	040	行政法	2				
	041	組織論	2				
	042	起業論	2				
	043	キャリア1	2				
	044	キャリア2	2				
	045	キャリア3	2				
	046	キャリア4	2				
	047	起業演習	2				

【表5】学則授業科目表：芸術学部専門科目（第10条関係、別表1-5）

区分	学則 番号	授業科目	単位 数	区分	学則 番号	授業科目	単位 数
専門 共通	072	芸術鑑賞	2	専門 共通	135	建築論	2
	073	エンターテインメントディレクション特殊研究	2		136	工芸理論	2
	074	芸術文化論	2		137	マンガ原作	2
	075	シナリオ研究	2		138	写真演習	2
	076	副科実技A-1	1		139	映像とメディア（絵画）	1
	077	副科実技A-2	1		140	映像とメディア（デザイン）	1
	078	副科実技B-1	1		141	人類生存のための教養	2
	079	副科実技B-2	1		142	社会調査	2
	080	副科実技C-1	1		143	海外研修	2
	081	副科実技C-2	1		144	地域文化論	2
	082	副科実技D-1	1		145	文化政策	2
	083	副科実技D-2	1		146	メディア論	2
	084	法令（安全管理）	2		147	論理的思考	2
	085	著作権	2		148	サブカルチャー論	2
	086	アウトリーチ論	2		149	英語リテラシー1	2
	087	ストーリーミングデザイン	2		150	英語リテラシー2	2
	088	舞台芸術作品研究Ⅰ	2	領域 共通	151	音楽芸術基礎研究	2
	089	舞台芸術作品研究Ⅱ-1	2		152	西洋音楽史概論	2
	090	舞台芸術作品研究Ⅱ-2	2		153	音楽ケアデザイン各論1	2
	091	舞台芸術作品研究Ⅱ-3	2		154	音楽ケアデザイン各論2	2
	092	芸術学	2		155	音楽ケアデザイン各論3	2
	093	近現代芸術論	2		156	臨床医学1	2
	094	彫刻論	2		157	臨床医学2	2
	095	日本美術史	2		158	邦楽（歌唱）	1
	096	東洋美術史	2		159	邦楽（和楽器）	1
	097	西洋美術史	2		160	和声学Ⅰ-1	2
	098	近代美術史	2		161	和声学Ⅰ-2	2
	099	アートと宗教	2		162	音楽ケアデザインワークショップ1	4
	100	美術研修	2		163	音楽ケアデザインワークショップ2	4
	101	陶芸技法1	2		164	音楽ケアデザインワークショップ3	4
	102	陶芸技法2	2		165	録音デザイン研究1	2
	103	ガラス技法1	2		166	録音デザイン研究2	2
	104	ガラス技法2	2		167	音響デザイン研究1	2
	105	絵画	2		168	音響デザイン研究2	2
	106	彫刻	2		169	サウンドメディア基礎演習1	2
	107	アートと文化1	2		170	サウンドメディア基礎演習2	2
	108	アートと文化2	2		171	ノートリーディングⅠ	2
	109	芸術療法	2		172	ノートリーディングⅡ	2
	110	美術解剖学	2		173	ミュージックエンターテインメントⅠ	8
	111	近現代彫刻論	2		174	ソルフェージュ実習Ⅰ-1	1
	112	版画技法1	2		175	ソルフェージュ実習Ⅰ-2	1
	113	版画技法2	2		176	ピアノⅠ-1	1
	114	彫刻技法1	2		177	ピアノⅠ-2	1
	115	彫刻技法2	2		178	声楽実習Ⅰ-1	1
	116	鋳造技法	2		179	声楽実習Ⅰ-2	1
	117	クリエイター演習1（現代文化）	2		180	合唱1-1	1
	118	クリエイター演習2（伝統工芸）	2		181	合唱1-2	1
	119	工芸教育演習	4		182	室内楽Ⅰ-1	1
	120	現代美術演習	2		183	室内楽Ⅰ-2	1
	121	芸術計画演習	2		184	マーチング実習1	1
	122	デザイン史	2		185	マーチング実習2	1
	123	デザインと文化1	2		186	管楽器リペア実習1	1
	124	図学1	2		187	合奏Ⅰ-1	1
	125	図学2	2		188	合奏Ⅰ-2	1
	126	建築史	2		189	セッションⅠ-1	1
	127	工芸史	2		190	セッションⅠ-2	1
	128	色彩学	2		191	演奏実習Ⅰ-1	1
	129	エコロジーとバリアフリー	2		192	演奏実習Ⅰ-2	1
	130	立体造形	2		193	舞踊表現・バレエ1	1
	131	デザインと文化2	2		194	舞踊表現・バレエ2	1
	132	現代デザイン論	2		195	ダンス実技Ⅰ-1	1
	133	写真論	2		196	ダンス実技Ⅰ-2	1
	134	映像論	2		197	舞台パフォーマンスⅠ-1	1

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
領域 共通	198	舞台パフォーマンスⅠ-2	1
	199	音楽表現実技Ⅰ	8
	200	総合音楽実技1	8
	201	民族音楽研究	2
	202	日本音楽研究	2
	203	音楽と教育	2
	204	社会福祉概論	2
	205	障害児教育	2
	206	音楽心理学	2
	207	発達心理学	2
	208	臨床心理1	2
	209	臨床心理2	2
	210	ショービジネス研究	2
	211	和声学Ⅱ-1	2
	212	和声学Ⅱ-2	2
	213	メディア表現ワークショップ	2
	214	スコアリーディング	2
	215	スコアリーディング演習	2
	216	音楽制作基礎演習1	2
	217	音楽制作基礎演習2	2
	218	ポップス・ロック論1	2
	219	ポップス・ロック論2	2
	220	ライブプロデュース演習1	2
	221	サウンドメディア応用演習1	2
	222	サウンドメディア応用演習2	2
	223	ミュージックエンターテインメントⅡ	8
	224	ソルフェージュ実習Ⅱ-1	1
	225	ソルフェージュ実習Ⅱ-2	1
	226	ピアノⅡ-1	1
	227	ピアノⅡ-2	1
	228	初見奏法1	1
	229	初見奏法2	1
	230	伴奏法Ⅰ-1	1
	231	伴奏法Ⅰ-2	1
	232	ピアノ重奏法1	1
	233	ピアノ重奏法2	1
	234	声楽実習Ⅱ-1	1
	235	声楽実習Ⅱ-2	1
	236	合唱2-1	1
	237	合唱2-2	1
	238	器楽合奏Ⅰ	1
	239	器楽合奏Ⅱ	1
	240	器楽基礎研究1	1
	241	器楽基礎研究2	1
	242	室内楽Ⅱ-1	1
	243	室内楽Ⅱ-2	1
	244	管楽器リペア実習2	1
	245	合奏Ⅱ-1	1
	246	合奏Ⅱ-2	1
	247	セッションⅡ-1	1
	248	セッションⅡ-2	1
	249	演奏実習Ⅱ-1	1
	250	演奏実習Ⅱ-2	1
	251	録音デザイン実習Ⅰ-1	1
	252	録音デザイン実習Ⅰ-2	1
	253	音響デザイン実習Ⅰ-1	1
	254	音響デザイン実習Ⅰ-2	1
	255	デジタルアート1	1
	256	ステージマネジメントⅠ-1	1
	257	ステージマネジメントⅠ-2	1
	258	アクティングⅠ-1	1
	259	アクティングⅠ-2	1
	260	ダンス実技Ⅱ-1	1
	261	ダンス実技Ⅱ-2	1

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
領域 共通	262	舞台パフォーマンスⅡ-1	1
	263	舞台パフォーマンスⅡ-2	1
	264	音楽表現実技Ⅱ	8
	265	総合音楽実技2	8
	266	アートマネジメント概論	2
	267	エンターテインメントコンテンツ論	2
	268	舞台芸術キャリア研究1	2
	269	舞台芸術キャリア研究2	2
	270	舞台芸術演習Ⅰ-1	2
	271	舞台芸術演習Ⅰ-2	2
	272	舞台芸術演習Ⅰ-3	2
	273	舞台芸術演習Ⅰ-4	2
	274	舞台芸術演習Ⅰ-5	2
	275	舞台芸術演習Ⅰ-6	2
	276	舞台芸術演習Ⅰ-7	2
	277	舞台芸術演習Ⅰ-8	2
	278	図面演習Ⅰ	2
	279	プロジェクトワーク1	2
	280	プロジェクトワーク2	2
	281	文化と経営	2
	282	文化と経済	2
	283	広報論	2
	284	舞台芸術演習Ⅱ-1	2
	285	舞台芸術演習Ⅱ-2	2
	286	舞台芸術演習Ⅱ-3	2
	287	舞台芸術演習Ⅱ-4	2
	288	図面演習Ⅱ	2
	289	図面演習Ⅲ	2
	290	プロジェクトワーク3	2
	291	プロジェクトワーク4	2
	292	施設実習1	2
	293	施設実習2	2
	294	アート概論	2
	295	近現代工芸論	2
	296	クロッキー	2
	297	美術演習Ⅰ-1	2
	298	美術演習Ⅰ-2	2
	299	美術実技Ⅰ-1（アート・ファンデーション）	4
	300	美術実技Ⅰ-2（アート・ファンデーション）	4
	301	美術実技Ⅰ-3（アイディアとドローイング）	2
	302	美術実技Ⅰ-4（オブジェ）	2
	303	美術実技Ⅰ-5（彫塑／マケット）	2
	304	美術実技Ⅰ-6（陶芸）	2
	305	美術実技Ⅰ-7（ガラス）	2
	306	美術実技Ⅰ-8（フィギュア）	2
	307	日本画実技Ⅰ-1	2
	308	日本画実技Ⅰ-2	2
	309	日本画実技Ⅰ-3	2
	310	日本画実技Ⅰ-4	2
	311	洋画実技Ⅰ-1	2
	312	洋画実技Ⅰ-2	2
	313	洋画実技Ⅰ-3	2
	314	洋画実技Ⅰ-4	2
	315	絵画技法材料論	2
	316	版画史	2
	317	メディア表現	2
	318	プロジェクト演習	2
	319	学外演習1	2
	320	美術演習Ⅱ-1	2
	321	美術演習Ⅱ-2	2
	322	美術実技Ⅱ-1	2
	323	美術実技Ⅱ-2	2
	324	美術実技Ⅱ-3	2
	325	美術実技Ⅱ-4	2

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
領域 共通	326	美術実技Ⅱ-5	2
	327	美術実技Ⅱ-6	2
	328	美術実技Ⅱ-7	2
	329	美術実技Ⅱ-8	2
	330	日本画実技Ⅱ-1	4
	331	日本画実技Ⅱ-2	2
	332	日本画実技Ⅱ-3	2
	333	日本画実技Ⅱ-4	4
	334	日本画実技Ⅱ-5	2
	335	日本画実技Ⅱ-6	2
	336	洋画実技Ⅱ-1	4
	337	洋画実技Ⅱ-2	2
	338	洋画実技Ⅱ-3	2
	339	洋画実技Ⅱ-4	4
	340	洋画実技Ⅱ-5	2
	341	洋画実技Ⅱ-6	2
	342	工芸複合素材実習	2
	343	デザイン概論	2
	344	デザイン理論	2
	345	文芸基礎	2
	346	デジタルサウンド1	2
	347	編集総合演習	2
	348	デザイン基礎演習A	2
	349	デザイン基礎演習B	2
	350	デザイン基礎演習C	2
	351	デザイン基礎演習D	2
	352	デザイン基礎演習E	2
	353	デザイン基礎演習F	2
	354	デザイン基礎演習G	2
	355	レビューⅠ	2
	356	デザイン実技Ⅰ-1	2
	357	デザイン実技Ⅰ-2	2
	358	デザイン実技Ⅰ-3	2
	359	デザイン実技Ⅰ-4	2
	360	先端基礎実技1	2
	361	先端基礎実技2	2
	362	文芸実技Ⅰ-1	2
	363	文芸実技Ⅰ-2	2
	364	文芸実技Ⅰ-3	2
	365	文芸実技Ⅰ-4	2
	366	文芸実技Ⅰ-5	2
	367	文芸実技Ⅰ-6	2
	368	コンピュータ表現基礎	2
	369	工芸制作	2
	370	情報デザイン論	2
	371	印刷論	2
	372	製品企画論	2
	373	エルゴノミクス論	2
	374	材料学	2
	375	建築企画論1-a（法規）	1
	376	建築企画論1-b（生産）	1
	377	インテリア設計論	2
	378	観察学・考現学	2
	379	映像演習	2
	380	デジタルサウンド2	2
	381	照明演習	2
	382	金属技法材料	2
	383	染織技法材料	2
	384	デザインワークショップ	2
	385	デザインインターンシップ	2
	386	デザイン演習Ⅰ	2
	387	文芸演習Ⅰ-1	2
	388	文芸演習Ⅰ-2	2
	389	レビューⅡ	2

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
領域 共通	390	デザイン実技Ⅱ-1	2
	391	デザイン実技Ⅱ-2	2
	392	デザイン実技Ⅱ-3	2
	393	デザイン実技Ⅱ-4	2
	394	文芸実技Ⅱ-1	2
	395	文芸実技Ⅱ-2	2
	396	文芸実技Ⅱ-3	2
	397	文芸実技Ⅱ-4	2
	398	版画実技	2
	399	視覚文化	2
	400	サウンド文化	2
	401	日本語リテラシー1	2
	402	異文化体験	2
	403	教養と文化1	2
	404	芸術教養レビュー1	2
	405	ビジュアルリテラシー1	2
	406	ビジュアルリテラシー2	2
	407	サウンドリテラシー1	2
	408	サウンドリテラシー2	2
	409	情報文化	2
	410	テキスト文化	2
	411	国際文化	2
	412	日本語リテラシー2	2
	413	情報リテラシー1	2
	414	情報リテラシー2	2
	415	教養と文化2	2
	416	芸術教養レビュー2	2
	417	プロジェクト1	2
	418	プロジェクト2	2
	419	ムービー制作	2
	420	インターメディア表現	2
	421	身体と言葉の表現	2
	422	和声学Ⅲ-1	2
	423	和声学Ⅲ-2	2
	424	20世紀音楽と電子メディア	2
	425	ジャズ・ポップス論	2
	426	医学概論	2
	427	介護概論	2
	428	対位法	2
	429	編曲法演習	2
	430	声楽歌唱法	2
	431	指揮法演習	2
	432	オペラ研究Ⅰ-1	2
	433	オペラ研究Ⅰ-2	2
	434	オーケストレーション演習1	2
	435	オーケストレーション演習2	2
	436	コンポジション1	2
	437	コンポジション2	2
	438	音楽療法1	2
	439	音楽療法2	4
	440	劇場と舞台	2
	441	パフォーマンス論1	2
	442	パフォーマンス論2	2
	443	ライブプロデュース演習2	2
	444	サウンドメディアプロジェクトⅠ-1	2
	445	サウンドメディアプロジェクトⅠ-2	2
	446	ミュージックエンターテインメントⅢ	8
	447	ソルフェージュ実習Ⅲ-1	1
	448	ソルフェージュ実習Ⅲ-2	1
	449	ピアノ応用実習Ⅰ	1
	450	ピアノ応用実習Ⅱ（伴奏法を含む）	1
	451	伴奏法Ⅱ-1	1
	452	伴奏法Ⅱ-2	1
	453	ピアノ演奏解釈1	1

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
領域 展開	454	ピアノ演奏解釈2	1
	455	作曲法実習Ⅰ	1
	456	作曲法実習Ⅱ	1
	457	器楽応用研究1	1
	458	室内楽Ⅲ-1	1
	459	室内楽Ⅲ-2	1
	460	マーチング実習3	1
	461	合奏Ⅲ-1	1
	462	合奏Ⅲ-2	1
	463	セッションⅢ-1	1
	464	セッションⅢ-2	1
	465	演奏実習Ⅲ-1	1
	466	演奏実習Ⅲ-2	1
	467	音楽制作実習Ⅰ-1	1
	468	音楽制作実習Ⅰ-2	1
	469	録音デザイン実習Ⅱ-1	1
	470	録音デザイン実習Ⅱ-2	1
	471	音響デザイン実習Ⅱ-1	1
	472	音響デザイン実習Ⅱ-2	1
	473	デジタルアート2	1
	474	プラクティス1	2
	475	プラクティス2	2
	476	ステージマネジメントⅡ-1	1
	477	ステージマネジメントⅡ-2	1
	478	声優技術基礎実習1	1
	479	声優技術基礎実習2	1
	480	アクティングⅡ-1	1
	481	アクティングⅡ-2	1
	482	ダンス実技Ⅲ-1	1
	483	ダンス実技Ⅲ-2	1
	484	舞台パフォーマンスⅢ-1	1
	485	舞台パフォーマンスⅢ-2	1
	486	声優アクティング表現実技Ⅰ	8
	487	ダンスパフォーマンス表現実技Ⅰ	8
	488	音楽表現実技Ⅲ	8
	489	総合音楽実技3	8
	490	コンポジション3	2
	491	コンポジション4	2
	492	音楽療法3	4
	493	サウンドメディアプロジェクトⅡ-1	2
	494	サウンドメディアプロジェクトⅡ-2	2
	495	ミュージックエンターテインメントⅣ	4
	496	キーボードハーモニー	1
	497	オペラ研究Ⅱ-1	2
	498	オペラ研究Ⅱ-2	2
	499	器楽応用研究2	1
	500	室内楽Ⅳ-1	1
	501	室内楽Ⅳ-2	1
	502	マーチング実習4	1
	503	合奏Ⅳ-1	1
	504	合奏Ⅳ-2	1
	505	セッションⅣ-1	1
	506	セッションⅣ-2	1
	507	演奏実習Ⅳ-1	1
	508	演奏実習Ⅳ-2	1
	509	音楽制作実習Ⅱ-1	1
	510	音楽制作実習Ⅱ-2	1
	511	録音デザイン実習Ⅲ-1	1
	512	録音デザイン実習Ⅲ-2	1
	513	音響デザイン実習Ⅲ-1	1
	514	音響デザイン実習Ⅲ-2	1
	515	プラクティス3	2
	516	プラクティス4	2
	517	アクティングⅢ-1	1

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
領域 展開	518	アクティングⅢ-2	1
	519	ダンス実技Ⅳ-1	1
	520	ダンス実技Ⅳ-2	1
	521	舞台パフォーマンスⅣ-1	1
	522	舞台パフォーマンスⅣ-2	1
	523	声優アクティング表現実技Ⅱ	8
	524	ダンスパフォーマンス表現実技Ⅱ	8
	525	音楽表現実技Ⅳ	8
	526	総合音楽実技4	8
	527	劇場運営論	2
	528	プロダクションマネジメント論	2
	529	芸術祭研究	2
	530	舞台芸術演習Ⅲ-1	2
	531	舞台芸術演習Ⅲ-2	2
	532	舞台芸術演習Ⅲ-3	2
	533	舞台芸術演習Ⅲ-4	2
	534	プロジェクトワーク5	2
	535	プロジェクトワーク6	2
	536	施設実習3	2
	537	施設実習4	2
	538	舞台芸術演習Ⅳ-1	2
	539	舞台芸術演習Ⅳ-2	2
	540	アートプロデュース演習1	2
	541	アートプロデュース演習2	2
	542	ポートフォリオ演習	2
	543	学外演習2	2
	544	美術実技Ⅲ-1	2
	545	美術実技Ⅲ-2	2
	546	美術実技Ⅲ-3	2
	547	美術実技Ⅲ-4	2
	548	美術実技Ⅲ-5	2
	549	美術実技Ⅲ-6	2
	550	美術実技Ⅲ-7	2
	551	美術実技Ⅲ-8	2
	552	日本画実技Ⅲ-1	4
	553	日本画実技Ⅲ-2	2
	554	日本画実技Ⅲ-3	2
	555	日本画実技Ⅲ-4	4
	556	日本画実技Ⅲ-5	2
	557	日本画実技Ⅲ-6	2
	558	洋画実技Ⅲ-1	4
	559	洋画実技Ⅲ-2	2
	560	洋画実技Ⅲ-3	2
	561	洋画実技Ⅲ-4	4
	562	洋画実技Ⅲ-5	2
	563	洋画実技Ⅲ-6	2
	564	美術実技Ⅳ-1	4
	565	美術実技Ⅳ-2	4
	566	日本画実技Ⅳ-1	4
	567	日本画実技Ⅳ-2	4
	568	洋画実技Ⅳ-1	4
	569	洋画実技Ⅳ-2	4
	570	視覚デザイン論	2
	571	広告表現論	2
	572	建築企画論2	2
	573	環境設計論	2
	574	建築構造学	2
	575	デザイン演習Ⅱ-1	2
	576	デザイン演習Ⅱ-2	2
	577	文芸演習Ⅱ-1	2
	578	文芸演習Ⅱ-2	2
	579	レビューⅢ	2
	580	デザイン実技Ⅲ-1	2
	581	デザイン実技Ⅲ-2	2

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
領域 展開	582	デザイン実技Ⅲ-3	2
	583	デザイン実技Ⅲ-4	2
	584	文芸実技Ⅲ-1	2
	585	文芸実技Ⅲ-2	2
	586	文芸実技Ⅲ-3	2
	587	文芸実技Ⅲ-4	2
	588	工芸・クラフトプロジェクト	2
	589	デザイン実技Ⅳ	4
	590	文芸実技Ⅳ	4
	591	芸術教養演習1	2
	592	芸術教養演習2	2

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
領域 展開	593	芸術教養レビュー3	2
	594	ビジュアルプログラミング	2
	595	教養と文化3	2
	596	英語ディスカッション	2
	597	プロジェクト3	2
	598	芸術教養演習3	2
	599	教養と文化4	2
	600	卒業研究（音楽）	4
	601	卒業研究（舞台芸術）	4
	602	卒業制作（美術・デザイン）	8
	603	卒業研究（芸術教養）	4

【表6】学則授業科目表：教育学部専門科目（第10条関係、別表1-4）

区分	学則 番号	授業科目	単位 数	区分	学則 番号	授業科目	単位 数
専門 基礎	604	子ども学総論	2		662	国語（書写を含む）	2
芸術 基礎	605	芸術鑑賞	1		663	社会	2
	606	保育者論	2		664	算数	2
	607	教育原論	2		665	理科	2
	608	発達心理学	2		666	生活	2
	609	教育方法論（情報通信技術の活用含む）	2		667	音楽	2
	610	教育相談	2		668	図画工作	2
	611	特別支援の理解	2		669	家庭	2
	612	幼児理解	2		670	体育	2
	613	保育指導法	2		671	外国語（英語）	2
	614	保育課程論	2		672	英語学概論	2
	615	保育内容総論	2		673	英語児童文学	2
	616	保育内容演習 健康	2		674	子どもの第二言語習得	2
	617	保育内容演習 人間関係	2		675	小学校英語演習	2
	618	保育内容演習 環境	2		676	教育実習（小学校）	4
	619	保育内容演習 言葉	2		677	教育実習指導（小学校）	1
	620	保育内容演習 表現	2		678	教育実習（幼稚園基礎実習・実習指導）	1
	621	幼児と健康	2		679	教育実習（幼稚園応用実習）	3
	622	幼児と人間関係	2		680	教育実習指導（幼稚園応用実習）	2
	623	幼児と環境	2		681	保育所実習Ⅰ	2
	624	幼児と言葉	2		682	保育所実習指導Ⅰ	1
	625	幼児と表現	2		683	施設実習Ⅰ	2
	626	教職論	2		684	施設実習指導Ⅰ	1
	627	教育制度論	2		685	保育所実習Ⅱ	2
	628	教育課程論	2		686	保育所実習指導Ⅱ	1
	629	道徳教育指導論	2		687	施設実習Ⅱ	2
	630	総合的な学習の時間の指導法	2		688	施設実習指導Ⅱ	1
	631	特別活動論	2		689	介護等体験	1
	632	生徒・進路指導論	2		690	保育内容と方法	2
	633	国語科指導法	2		691	乳児保育Ⅱ	1
	634	社会科指導法	2		692	乳幼児心理学	2
	635	算数科指導法	2		693	児童心理学	2
	636	理科指導法	2		694	子どもの心理ケア	2
	637	生活科指導法	2		695	子ども文化創造論	2
	638	音楽科指導法	2		696	ピアノ実習Ⅰ	1
	639	図画工作科指導法	2		697	ピアノ実習Ⅱ	1
	640	家庭科指導法	2		698	子どものうたとピアノⅠ	1
	641	体育科指導法	2		699	子どものうたとピアノⅡ	1
	642	外国語科指導法（英語）	2		700	声楽表現	1
	643	小学校プログラミング演習（指導法含む）	2		701	器楽表現	1
	644	ICT教材研究	2		702	子どもの造形	1
	645	子どもとネットワークリテラシー（情報モラル教育含む）	2		703	子どもの絵画	1
	646	地域活動	2		704	子どものデザイン	1
	647	保育原理	2		705	子どもの身体表現	1
	648	子ども家庭福祉	2		706	子どもの運動あそび	1
	649	社会福祉	2		707	子どもと絵本Ⅰ	2
	650	社会的養護Ⅰ	2		708	子どもと絵本Ⅱ	2
	651	社会的養護Ⅱ	2		709	体育学概論	2
	652	子育て支援	1		710	スポーツ・コーチング論	2
	653	子どもの保健	2		711	学校の保健と安全	2
	654	子どもの食と栄養	2		712	子ども学演習	2
	655	子ども家庭支援論	2		713	基礎演習	4
	656	乳児保育Ⅰ	2		714	専門演習	4
	657	障害児保育	2		715	卒業研究・卒業制作	4
	658	保育の心理学	2		716	教職実践演習（小）	2
	659	子ども家庭支援の心理学	2		717	保育・教職実践演習（幼）	2
	660	子どもの理解と援助	1				
	661	子どもの健康と安全	1				

【表7】学則授業科目表：教職課程科目（中学校・高等学校免許）（第12条関係、別表3-1-1、3-2-6、3-2-7、3-2-8）

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
教育 職員 免許	718	教育原論	2
	719	教職論	2
	720	教育制度論	2
	721	学習心理学	2
	722	特別支援の理解	2
	723	教育課程論	2
	724	道德教育指導論	2
	725	総合的な学習の時間の指導法	2
	726	特別活動論	2
	727	教育方法論（情報通信技術の活用含む）	2
	728	生徒・進路指導論	2
	729	教育相談	2
	730	教育実習Ⅰ	1
	731	教育実習Ⅱ	2
	732	教育実習Ⅲ	2
	733	教職実践演習（中・高）	2
	734	音楽科指導法1	2
	735	音楽科指導法2	2
	736	音楽科指導法3	2
	737	音楽科指導法4	2
	738	美術科指導法1	2
	739	美術科指導法2	2
	740	美術科・工芸科指導法1	2
	741	美術科・工芸科指導法2	2

【表8】学則授業科目表：学芸員に関する科目（第16条関係、別表4-1）

区分	学則 番号	授業科目	単位 数
学 芸 員	742	生涯学習概論	2
	743	博物館概論	2
	744	博物館経営論	2
	745	博物館資料論	2
	746	博物館資料保存論	2
	747	博物館展示論	2
	748	博物館教育論	2
	749	博物館情報・メディア論	2
	750	博物館実習Ⅰ	2
	751	博物館実習Ⅱ	1
	752	現代美術演習	2

4. 履 修 ガ イ ド

(1) 全学総合共通科目

① 全学総合共通科目開設授業科目及び各授業科目で育成する資質・能力

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	単 位	備考	A	B	C	D	E
全学総合共通科目	001		大学生になる		1	1						
	002		日本語表現		1	1						
	003		英語1		1	1						
	004		英語2		1	1						
	005	01	英語3	TOEIC初級	1	1						
	005	02	英語3	TOEIC中級	1	1						
	006		コミュニケーション英語1		1	1						
	007		コミュニケーション英語2		1	1						
	008	01	コミュニケーション英語3	TOEIC初級	1	1						
	008	02	コミュニケーション英語3	TOEIC中級	1	1						
	009		フランス語Ⅰ		1	1						
	010		フランス語Ⅱ		1	1						
	011		ドイツ語Ⅰ		1	1						
	012		ドイツ語Ⅱ		1	1						
	013		イタリア語Ⅰ		1	1						
	014		イタリア語Ⅱ		1	1						
	015		中国語Ⅰ		1	1						
	016		中国語Ⅱ		1	1						
	017		情報メディア演習		1	2						
	018		数理科学		2	2						
	019		基礎数学		2	2						
	020		AIと数理		2	2						
	021		生物学		1	2						
	022		美学		1	2						
	023		倫理学		1	2						
	024		歴史学		1	2						
	025		社会学		1	2						
	026		日本国憲法		1	2						
	027		心理学		2	2						
	028		人類学		1	2						
	029		考古学		2	2						
	030		考古学演習		2	2						
	031		健康と体力		1	2						
	032		健康スポーツ		1	2						
	033	01	スタディ・アプロード	交流	1	2						
	033	02	スタディ・アプロード	留学	1	2						
	034		ボランティア		2	2						
	035		インターンシップ		2	2						
	036		経済学		1	2						
	037		民法		1	2						
	038		労務論		1	2						
	039		簿記		1	2						
	040		行政法		2	2						
	041		組織論		2	2						
	042		起業論		2	2						
	043		キャリア1		1	2						
	044		キャリア2		2	2						
	045	01	キャリア3		3	2	プロフェッショナルアーティストコース履修不可					
	045	02	キャリア3	PA	3	2	プロフェッショナルアーティストコースのみ履修可					
	046	01	キャリア4	教職	3	2	プロフェッショナルアーティストコース履修不可					
	046	02	キャリア4		3	2						
	046	03	キャリア4	PA	3	2	プロフェッショナルアーティストコースのみ履修可					
	047		起業演習		3	2						

① 全学総合共通科目開設授業科目及び各授業科目で育成する資質・能力

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	単 位	備考	A	B	C	D	E
全 学 総 合 共 通 科 目			048 音楽の世界		1	2		○	○			
			049 西洋音楽史各論		2	2		○	○	○		
			050 ポップス・ジャズミュージックシーン		2	2		○	○			
			051 舞台芸術概論		1	2		○	○			
			052 劇場史		1	2		○				
			053 アートマーケティング		1	2		○		○		
			054 絵画基礎		2	2				○	○	
	01		055 デッサン	舞台	1	2	舞台芸術領域のみ履修可	○	○		○	○
	02		055 デッサン		1	2		○	○		○	○
			056 書道アート		2	2				○	○	
			057 認知科学		2	2		○	○	○	○	○
			058 アニメーション特論		1	2		○	○	○	○	○
			059 ソーシャルデザイン論		2	2		○	○	○		
			060 現代芸術と文化		2	2		○	○			
			061 芸術と科学		2	2		○		○	○	
			062 文化とマーケティング		2	2		○	○	○	○	
			063 教育の思想と歴史		1	2		○		○		
			064 子どもの発達と芸術		1	2		○	○		○	
			065 学校とICT		2	2		○			○	
			066 多文化共生論		2	2		○		○		○
			067 生涯発達心理学		2	2		○	○			
	01		068 アートプロジェクト1	東C	1	2		○	○	○	○	○
	02		068 アートプロジェクト1	西C	1	2			○	○	○	○
			069 アートプロジェクト2		1	2			○		○	○
			070 アートプロジェクト3		1	2			○	○	○	○
			071 アートプロジェクト4		1	2			○	○	○	○

※1 赤字は、卒業必修科目

注1 学則番号が同じ授業科目（=枝番のある授業科目）は、そのうち1科目しか履修登録できません。

○ 各科目で育成する資質・能力（A～E）は、【表1】を参照してください。

(2) コー ス 等 授 業 科 目

1) リベラルアーツコース

① リベラルアーツコースの人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力

人材養成像：現代のリベラルアーツを修得し、芸術と文化を理解する教養あるジェネラリストとして、現代社会でひろく活躍できる知見と技術、思考力を備えた人を養成する。具体的には問題（課題）を発見し、調査をふまえた上で視覚的にも聴覚的にも、言語・論理上でも、説得力を持った形で解決策を提案する力、多くの人とともに課題解決にあたる実行力とグループワーク力を併せ持ち、芸術文化や人々の生活の創造発展に寄与できる人を育てる。	
A. 知識・理解：芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識と考え方を習得する。	① 多様な講義や施設・アートイベントなどの見学・観察を通じ、見聞を広げる。
	② 自分の文化と他者の文化を知り、多様性について考える。
B. 意欲・実行：課題やテーマに対して主体的に取り組み、計画的に遂行する力を身につける。	① 課題発見・調査・提案・試行・擦り合わせ・実行をグループで行い、他者と協働する力を養う。
	② 課題解決に向かうスケジュール調整や他者との交渉力を養い遂行力を伸ばす。
C. 思考・判断：課題やテーマに対して、的確に情報を収集し、分析、評価する論理的思考ができる。	① 情報収集し、分析・評価のスキルを獲得し、リテラシーを高める。
	② 芸術と関わる、言語・情報・芸術的な技術の力を伸ばす。
D. 技能・表現：芸術分野において必要とされる発想、技術、表現力を身につける。	① 芸術的な力を広げ、アーティストの試行錯誤を体験し、アーティスト支援を円滑にする。
E. コミュニケーション：自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション力を身につける。	① 実技や演習を通じ様々な形で論理・感情両面に訴求する発信力を養う。

リベラルアーツコースの履修モデル（各授業科目で育成する資質・能力）

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	単 位	A ①	A ②	B ①	B ②	C ①	C ②	D ①	E ①
専 門 科 目	072		芸術鑑賞		2	2	○						○	○
	073	01	エンターテインメントディレクション特殊研究	エンタメ	1	2	○							
	073	02	エンターテインメントディレクション特殊研究	サウンド	1	2	○							
	074		芸術文化論		2	2	○							
	075		シナリオ研究		2	2	○						○	
	076	01	副科実技A-1	声楽	1	1							○	
	076	02	副科実技A-1	鍵盤P	1	1							○	
	076	03	副科実技A-1	鍵盤E	1	1							○	
	076	04	副科実技A-1	弦管打	1	1							○	
	076	05	副科実技A-1	ウインド	1	1							○	
	076	06	副科実技A-1	ポップス	1	1							○	
	077	01	副科実技A-2	声楽	1	1							○	
	077	02	副科実技A-2	鍵盤P	1	1							○	
	077	03	副科実技A-2	鍵盤E	1	1							○	
	077	04	副科実技A-2	弦管打	1	1							○	
	077	05	副科実技A-2	ウインド	1	1							○	
	077	06	副科実技A-2	ポップス	1	1							○	
	078	01	副科実技B-1	声楽	2	1							○	
	078	02	副科実技B-1	鍵盤P	2	1							○	
	078	03	副科実技B-1	鍵盤E	2	1							○	
	078	04	副科実技B-1	弦管打	2	1							○	
	078	05	副科実技B-1	ウインド	2	1							○	
	078	06	副科実技B-1	ポップス	2	1							○	
	079	01	副科実技B-2	声楽	2	1							○	
	079	02	副科実技B-2	鍵盤P	2	1							○	
	079	03	副科実技B-2	鍵盤E	2	1							○	
	079	04	副科実技B-2	弦管打	2	1							○	
	079	05	副科実技B-2	ウインド	2	1							○	
	079	06	副科実技B-2	ポップス	2	1							○	
	080	01	副科実技C-1	声楽	3	1							○	
	080	02	副科実技C-1	鍵盤P	3	1							○	
	080	03	副科実技C-1	鍵盤E	3	1							○	
	080	04	副科実技C-1	弦管打	3	1							○	
	080	05	副科実技C-1	ウインド	3	1							○	
	080	06	副科実技C-1	ポップス	3	1							○	
	081	01	副科実技C-2	声楽	3	1							○	
	081	02	副科実技C-2	鍵盤P	3	1							○	
	081	03	副科実技C-2	鍵盤E	3	1							○	
	081	04	副科実技C-2	弦管打	3	1							○	
	081	05	副科実技C-2	ウインド	3	1							○	
	081	06	副科実技C-2	ポップス	3	1							○	

① リベラルアーツコースの人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	単 位	A ①	A ②	B ①	B ②	C ①	C ②	D ①	E ①
専門 科目	082	01	副科実技D-1	声楽	4	1							○	
	082	02	副科実技D-1	鍵P	4	1							○	
	082	03	副科実技D-1	鍵E	4	1							○	
	082	04	副科実技D-1	弦管打	4	1							○	
	082	05	副科実技D-1	ウインド	4	1							○	
	082	06	副科実技D-1	ポップス	4	1							○	
	083	01	副科実技D-2	声楽	4	1							○	
	083	02	副科実技D-2	鍵P	4	1							○	
	083	03	副科実技D-2	鍵E	4	1							○	
	083	04	副科実技D-2	弦管打	4	1							○	
	083	05	副科実技D-2	ウインド	4	1							○	
	083	06	副科実技D-2	ポップス	4	1							○	
	084		法令（安全管理）		1	2	○							
	085		著作権		1	2	○							
	086		アウトリーチ論		1	2	○							
	087		ストーリーミングデザイン		1	2	○						○	
	088		舞台芸術作品研究Ⅰ		1	2	○							
	089		舞台芸術作品研究Ⅱ-1		1	2	○							
	090		舞台芸術作品研究Ⅱ-2		2	2	○							
	092		芸術学		1	2	○							
	093		近現代芸術論		1	2	○							
	094		彫刻論		1	2	○						○	
	095		日本美術史		1	2	○							
	096		東洋美術史		1	2	○							
	097		西洋美術史		1	2	○							
	098		近代美術史		1	2	○							
	099		アートと宗教		1	2	○							
	100		美術研修		1	2	○				○			
	101		陶芸技法1		1	2	○						○	
	102		陶芸技法2		1	2	○						○	
	103		ガラス技法1		1	2	○						○	
	104		ガラス技法2		1	2	○						○	
	105		絵画		1	2	○						○	
	106		彫刻		1	2	○						○	
	107		アートと文化1		2	2	○							
	108		アートと文化2		2	2	○						○	
	109		芸術療法		2	2	○							
	110		美術解剖学		2	2	○						○	
	111		近現代彫刻論		2	2	○							
	112		版画技法1		2	2	○						○	
	113		版画技法2		2	2	○						○	
	114		彫刻技法1		2	2	○						○	
	115		彫刻技法2		2	2	○						○	
	116		鋳造技法		2	2	○						○	
	119		工芸教育演習		2	4	○						○	
	120		現代美術演習		3	2	○				○			
	121		芸術計画演習		3	2	○		○				○	
	122		デザイン史		1	2	○							
	123		デザインと文化1		1	2	○						○	
	124		図学1		1	2	○						○	
	125		図学2		1	2	○						○	
	126		建築史		1	2	○							
	127		工芸史		1	2	○							
	128		色彩学		1	2	○							
	129		エコロジーとバリアフリー		1	2	○	○						
	130		立体造形		1	2	○						○	
	131		デザインと文化2		2	2	○						○	
	132		現代デザイン論		2	2	○							
	133		写真論		2	2	○							
	134		映像論		2	2	○							
	135		建築論		2	2	○							
	136		工芸理論		2	2	○							
	137		マンガ原作		2	2	○						○	
	138	01	写真演習	東C	2	2	○				○		○	

① リベラルアーツコースの人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	単 位	A ①	A ②	B ①	B ②	C ①	C ②	D ①	E ①
領域 共通	139		映像とメディア（絵画）		2	1	○						○	
	140		映像とメディア（デザイン）		2	1	○				○		○	
	141		人類生存のための教養		1	2	○							
	142		社会調査		1	2	○		○		○			
	143		海外研修		1	2		○	○		○			○
	144		地域文化論		2	2		○			○			○
	145		文化政策		2	2		○			○			
	146		メディア論		2	2	○				○			
	147		論理的思考		2	2	○				○			
	148		サブカルチャー論		2	2		○			○			
	149	01	英語リテラシー1		2	2	○					○		○
	150	01	英語リテラシー2		2	2	○					○		○
	399		視覚文化		1	2	○				○			
	400		サウンド文化		1	2	○				○			
	401		日本語リテラシー1		1	2	○					○		○
	402		異文化体験		1	2		○	○		○			○
	403		教養と文化1		1	2	○							○
	404		芸術教養レビュー1		1	2				○			○	○
	405		ビジュアルリテラシー1		1	2						○	○	○
	406		ビジュアルリテラシー2		1	2						○	○	○
	407		サウンドリテラシー1		1	2						○	○	○
	408		サウンドリテラシー2		1	2						○	○	○
	409		情報文化		2	2	○					○		
	410		テキスト文化		2	2	○					○		
	411		国際文化		2	2		○						
	412		日本語リテラシー2		2	2	○					○		○
	413		情報リテラシー1		2	2						○	○	○
	414		情報リテラシー2		2	2						○	○	○
	415		教養と文化2		2	2	○							○
	416		芸術教養レビュー2		2	2				○			○	○
	417		プロジェクト1		2	2			○	○	○			○
	418		プロジェクト2		2	2			○	○	○			○
	419		ムービー制作		2	2			○	○			○	○
	420		インターメディア表現		2	2				○			○	○
	421		身体と言葉の表現		2	2			○			○	○	○
領域 展開	591		芸術教養演習1		3	2				○		○		○
	592		芸術教養演習2		3	2				○		○		○
	593		芸術教養レビュー3		3	2				○			○	○
	594		ビジュアルプログラミング		3	2						○	○	○
	595		教養と文化3		3	2		○	○	○				○
	596		英語ディスカッション		3	2		○				○		
	597		プロジェクト3		3	2			○	○	○			○
	598		芸術教養演習3		4	2				○		○		○
	599		教養と文化4		4	2		○	○	○				○
	603		卒業研究（芸術教養）		4	4			○	○	○	○		○

※1 赤字は、必修科目

※2 緑字は、選択必修科目

② リベラルアーツコース卒業要件

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	科目 単位	卒業 単位	備考
全学総合 共通科目	一般科目群	001	大学生になる		1	1	10	
		002	日本語表現		1	1		
		003	英語1		1	1		
		004	英語2		1	1		
		006	コミュニケーション英語1		1	1		
		007	コミュニケーション英語2		1	1		
		017	情報メディア演習		1	2		
		043	キャリア1		1	2		
	-	-	選択科目	-	-	6	6	6単位以上
	横断科目群	-	選択科目	-	-	8	8	8単位以上
専門科目	専門共通	072	芸術鑑賞		2	2	60	
		141	人類生存のための教養		1	2		
		144	地域文化論		2	2		
		149 01	英語リテラシー1		2	2		
		150 01	英語リテラシー2		2	2		
	領域共通	399	視覚文化		1	2		
		400	サウンド文化		1	2		
		401	日本語リテラシー1		1	2		
		402	異文化体験		1	2		
		403	教養と文化1		1	2		
		404	芸術教養レビュー1		1	2		
		405	ビジュアルリテラシー1		1	2		
		406	ビジュアルリテラシー2		1	2		
		407	サウンドリテラシー1		1	2		
		408	サウンドリテラシー2		1	2		
		409	情報文化		2	2		
		410	テキスト文化		2	2		
		412	日本語リテラシー2		2	2		
		413	情報リテラシー1		2	2		
		414	情報リテラシー2		2	2		
		415	教養と文化2		2	2		
		416	芸術教養レビュー2		2	2		
		417	プロジェクト1		2	2		
		418	プロジェクト2		2	2		
	領域展開	591	芸術教養演習1		3	2		
		592	芸術教養演習2		3	2		
		593	芸術教養レビュー3		3	2		
		598	芸術教養演習3		4	2		
		603	卒業研究（芸術教養）		4	4		
	専門共通	147	論理的思考		2	2	2	2単位以上選択必修
	領域共通	411	国際文化		2	2		
	-	-	選択科目	-	-	18	18	18単位以上（選択必修の必要単位超過分含む）
自由選択科目			-	-	-	20	20	☆
卒業要件単位					-	-	124	124単位以上

☆ 全学総合共通科目、専門科目の卒業要件単位数を超えて修得した単位については、合計20単位を上限として、卒業要件単位（自由選択科目）に加えることができる。

※1 赤字は、必修科目

※2 緑字は、選択必修科目

② リベラルアーツコース卒業要件

【参考】 リベラルアーツコース学年別履修登録単位数の例

(単位)

学年	区分	全学総合共通科目		専門科目	学年小計	合計
		一般科目群	横断科目群			
1年生	必修	10	-	22	32	38 (32~48)
	選択必修	-	-	-	0	
	選択	0 (0~16)	2 (0~16)	4 (0~16)	6 (0~16)	
2年生	必修	-	-	26	26	40 (28~48)
	選択必修	-	-	4 (2~4)	4 (2~4)	
	選択	0 (0~20)	0 (0~20)	10 (0~20)	10 (0~20)	
3年生	必修	-	-	6	6	38 (6~48)
	選択必修	-	-	-	0	
	選択	6 (0~26)	6 (0~28)	20 (0~38)	32 (0~42)	
4年生	必修	-	-	6	6	8 (6~48)
	選択必修	-	-	-	0	
	選択	0 (0~26)	0 (0~28)	2 (0~38)	2 (0~42)	
小計	必修	10	0	60	70	124
	選択必修	0	0	4 (2~4)	4 (2~4)	
	選択	6 (6~26)	8 (8~28)	36 (16~38)	50 (50~52)	
合計		16 (16~36)	8 (8~28)	100 (80~100)	124	124

- ① 上の表は、卒業要件単位である124単位の修得を目指す例です。もちろん、この例を超える単位を修得することは可能です。
- ② 履修モデルにある領域共通及び領域展開の授業科目をすべて履修したうえで、4年生で履修する授業科目を最小限にした例となります。
- ③ 全学総合共通科目の卒業要件である一般科目群16単位、横断科目群8単位の計24単位を修得のうえ、自由選択科目20単位をすべて専門科目で修得する例となっています。
- ④ 選択必修科目は、全科目履修することとしています。
- ⑤ 選択必修科目及び選択科目については、括弧の範囲内の単位数で履修登録可能ですが、必ず卒業要件（全学総合共通科目の一般科目群16単位、横断科目群8単位、専門科目80単位、自由選択科目20単位の計124単位）を満たすように4年間でバランスよく履修してください。
- ⑥ 授業科目の配当年次において、単位修得することとしています。必修科目や選択必修科目について配当年次で単位修得に至らなかった場合は、考慮していません。
- ⑦ 1年間で履修登録できる単位数の上限を48単位としています（年間の累積GPAに応じて履修登録できる単位数が加算される制度があります。詳しくは『学生便覧』を参照してください）。

③ リベラルアーツコース開設授業科目一覧

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	単 位	備考
専 門 科 目	072		芸術鑑賞		2	2	
	073	01	エンターテインメントディレクション特殊研究	エンタメ	1	2	
	073	02	エンターテインメントディレクション特殊研究	サウンド	1	2	
	074		芸術文化論		2	2	
	075		シナリオ研究		2	2	
	076	01	副科実技A-1	声楽	1	1	
	076	02	副科実技A-1	鍵P	1	1	
	076	03	副科実技A-1	鍵E	1	1	
	076	04	副科実技A-1	弦管打	1	1	
	076	05	副科実技A-1	ウインド	1	1	
	076	06	副科実技A-1	ポップス	1	1	
	077	01	副科実技A-2	声楽	1	1	
	077	02	副科実技A-2	鍵P	1	1	
	077	03	副科実技A-2	鍵E	1	1	
	077	04	副科実技A-2	弦管打	1	1	
	077	05	副科実技A-2	ウインド	1	1	
	077	06	副科実技A-2	ポップス	1	1	
	078	01	副科実技B-1	声楽	2	1	
	078	02	副科実技B-1	鍵P	2	1	
	078	03	副科実技B-1	鍵E	2	1	
	078	04	副科実技B-1	弦管打	2	1	
	078	05	副科実技B-1	ウインド	2	1	
	078	06	副科実技B-1	ポップス	2	1	
	079	01	副科実技B-2	声楽	2	1	
	079	02	副科実技B-2	鍵P	2	1	
	079	03	副科実技B-2	鍵E	2	1	
	079	04	副科実技B-2	弦管打	2	1	
	079	05	副科実技B-2	ウインド	2	1	
	079	06	副科実技B-2	ポップス	2	1	
	080	01	副科実技C-1	声楽	3	1	
	080	02	副科実技C-1	鍵P	3	1	
	080	03	副科実技C-1	鍵E	3	1	
	080	04	副科実技C-1	弦管打	3	1	
	080	05	副科実技C-1	ウインド	3	1	
	080	06	副科実技C-1	ポップス	3	1	
	081	01	副科実技C-2	声楽	3	1	
	081	02	副科実技C-2	鍵P	3	1	
	081	03	副科実技C-2	鍵E	3	1	
	081	04	副科実技C-2	弦管打	3	1	
	081	05	副科実技C-2	ウインド	3	1	
	081	06	副科実技C-2	ポップス	3	1	
	082	01	副科実技D-1	声楽	4	1	
	082	02	副科実技D-1	鍵P	4	1	
	082	03	副科実技D-1	鍵E	4	1	
	082	04	副科実技D-1	弦管打	4	1	
	082	05	副科実技D-1	ウインド	4	1	
	082	06	副科実技D-1	ポップス	4	1	
	083	01	副科実技D-2	声楽	4	1	
	083	02	副科実技D-2	鍵P	4	1	
	083	03	副科実技D-2	鍵E	4	1	
	083	04	副科実技D-2	弦管打	4	1	
	083	05	副科実技D-2	ウインド	4	1	
	083	06	副科実技D-2	ポップス	4	1	
	084		法令（安全管理）		1	2	
	085		著作権		1	2	
	086		アウトリーチ論		1	2	
	087		ストーリーミングデザイン		1	2	
	088		舞台芸術作品研究Ⅰ		1	2	
	089		舞台芸術作品研究Ⅱ-1		1	2	
	090		舞台芸術作品研究Ⅱ-2		2	2	
	091		舞台芸術作品研究Ⅱ-3		2	2	

③ リベラルアーツコース開設授業科目一覧

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	単 位	備考
専 門 科 目	092		芸術学		1	2	
	093		近現代芸術論		1	2	
	094		彫刻論		1	2	
	095		日本美術史		1	2	
	096		東洋美術史		1	2	
	097		西洋美術史		1	2	
	098		近代美術史		1	2	
	099		アートと宗教		1	2	
	100		美術研修		1	2	
	101		陶芸技法1		1	2	
	102		陶芸技法2		1	2	
	103		ガラス技法1		1	2	
	104		ガラス技法2		1	2	
	105		絵画		1	2	
	106		彫刻		1	2	
	107		アートと文化1		2	2	
	108		アートと文化2		2	2	
	109		芸術療法		2	2	
	110		美術解剖学		2	2	
	111		近現代彫刻論		2	2	
	112		版画技法1		2	2	
	113		版画技法2		2	2	
	114		彫刻技法1		2	2	
	115		彫刻技法2		2	2	
	116		鋳造技法		2	2	
	117		クリエイター演習1（現代文化）		2	2	
	118		クリエイター演習2（伝統工芸）		2	2	
	119		工芸教育演習		2	4	
	120		現代美術演習		3	2	
	121		芸術計画演習		3	2	
	122		デザイン史		1	2	
	123		デザインと文化1		1	2	
	124		図学1		1	2	
	125		図学2		1	2	
	126		建築史		1	2	
	127		工芸史		1	2	
	128		色彩学		1	2	
	129		エコロジーとバリアフリー		1	2	
	130		立体造形		1	2	
	131		デザインと文化2		2	2	
	132		現代デザイン論		2	2	
	133		写真論		2	2	
	134		映像論		2	2	
	135		建築論		2	2	
	136		工芸理論		2	2	
	137		マンガ原作		2	2	
	138 01		写真演習	東C	2	2	MCDクラス（138-03）履修不可
	138 02		写真演習		2	2	
	139		映像とメディア（絵画）		2	1	
	140		映像とメディア（デザイン）		2	1	
	141		人類生存のための教養		1	2	
	142		社会調査		1	2	
	143		海外研修		1	2	
	144		地域文化論		2	2	
	145		文化政策		2	2	
	146		メディア論		2	2	
	147		論理的思考		2	2	★1
	148		サブカルチャー論		2	2	
	149 01		英語リテラシー1		2	2	PAクラス（149-02）履修不可
	150 01		英語リテラシー2		2	2	PAクラス（150-02）履修不可

③ リベラルアーツコース開設授業科目一覧

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	単 位	備考
専 門 科 目	領 域 共 通	399	視覚文化		1	2	
		400	サウンド文化		1	2	
		401	日本語リテラシー1		1	2	
		402	異文化体験		1	2	
		403	教養と文化1		1	2	
		404	芸術教養レビュー1		1	2	
		405	ビジュアルリテラシー1		1	2	
		406	ビジュアルリテラシー2		1	2	
		407	サウンドリテラシー1		1	2	
		408	サウンドリテラシー2		1	2	
		409	情報文化		2	2	
		410	テキスト文化		2	2	
		411	国際文化		2	2	★1
		412	日本語リテラシー2		2	2	
		413	情報リテラシー1		2	2	
		414	情報リテラシー2		2	2	
		415	教養と文化2		2	2	
		416	芸術教養レビュー2		2	2	
		417	プロジェクト1		2	2	
		418	プロジェクト2		2	2	
		419	ムービー制作		2	2	
		420	インターメディア表現		2	2	
		421	身体と言葉の表現		2	2	
	領 域 展 開	591	芸術教養演習1		3	2	
		592	芸術教養演習2		3	2	
		593	芸術教養レビュー3		3	2	
		594	ビジュアルプログラミング		3	2	
		595	教養と文化3		3	2	
		596	英語ディスカッション		3	2	
		597	プロジェクト3		3	2	
		598	芸術教養演習3		4	2	
		599	教養と文化4		4	2	
		603	卒業研究（芸術教養）		4	4	

※1 赤字は、コース必修科目

※2 緑字は、コース選択必修科目

※3 ハイライト は、コースの履修モデル科目

★1 147、411より2単位以上選択必修

注1 学則番号が同じ授業科目（＝枝番のある授業科目）は、そのうち1科目しか履修登録できません。

(2) 免 許 / 資 格 課 程 科 目

1) 学 芸 員 課 程

① 学芸員課程の人材養成像及び各授業科目で育成する資質・能力

人材養成像：教科に関する幅広い専門的知識・技能を有するとともに、学校現場で必要とされる授業実践力と生徒指導力を高め、中学校、高等学校の芸術教育をリードすることができる人材を養成する。	
A. 知識・理解：学校教育に関わる基礎的な知識や考え方を身につけている	
① 博物館に関する基礎的な知識を身につける。	
② 博物館の歴史と動向、学芸員の役割についての理解を深める。	
③ 博物館とは何かという問いを理解するための専門的な能力を養う。	
B. 関心・意欲・態度：自分が目指す教員像をイメージし、よりよい教員になるために学び続けることができる。	
① 博物館における生涯学習および社会教育の意義を理解する。	
② 博物館における生涯学習・社会教育を通じた文化芸術の発展のための基礎的な能力を養う。	
③ 博物館における生涯学習・社会教育の指導者としての役割を理解する。	
C. 思考・判断：教員業務に必要な思考力・判断力を身につけている。	
① 博物館における資料の概念（意義・種類・資料化の過程）を理解する。	
② 博物館におけるコレクション管理の考え方を習得する。	
③ 新たな情報メディアの対応とデジタル・アーカイブの構築に関する基礎的な能力を養う。	
D. 技能・表現：授業を行うために必要な力を身につけている。	
① 博物館における情報の意義とその活用方法について理解する。	
② 博物館におけるICTを活用した地域や学校教育との連携について理解する。	
③ 博物館資料のドキュメンテーションとデータベース化についての基礎的な能力を養う。	
E. コミュニケーション：学校現場で生徒や他の教職員などと良好な人間関係をつくることができる。	
① 見学実習を通して多様な館種の実態を理解する。	
② 実務実習において資料の取り扱いや展示業務について理解する。	
③ 実務体験を通して博物館の持続的かつ発展的な経営に係る視点を習得する。	

学芸員課程の履修モデル（各授業科目で育成する資質・能力）

区分	学則 番号	枝 番	授業科目	クラス	学 年	単 位	A ①	A ②	A ③	B ①	B ②	B ③	C ①	C ②	C ③	D ①	D ②	D ③	E ①	E ②	E ③
免許 / 学 芸 員 格 科 目	742		生涯学習概論		1	2															
	743		博物館概論		1	2															
	744		博物館経営論		2	2															
	745		博物館資料論		2	2															
	746		博物館資料保存論		2	2															
	747		博物館展示論		2	2															
	748		博物館教育論		3	2															
	749		博物館情報・メディア論		3	2															
	750		博物館実習Ⅰ		3	2															
	751		博物館実習Ⅱ		4	1															

※ 任意科目の各授業科目で育成する資質・能力は、専門科目及び全学総合共通科目において示している。

